

審議事項(工業関係試験研究機関の機関評価)に関する資料

令和2年11月6日

宮城県産業技術総合センター

令和2年度工業関係試験研究機関評価部会用

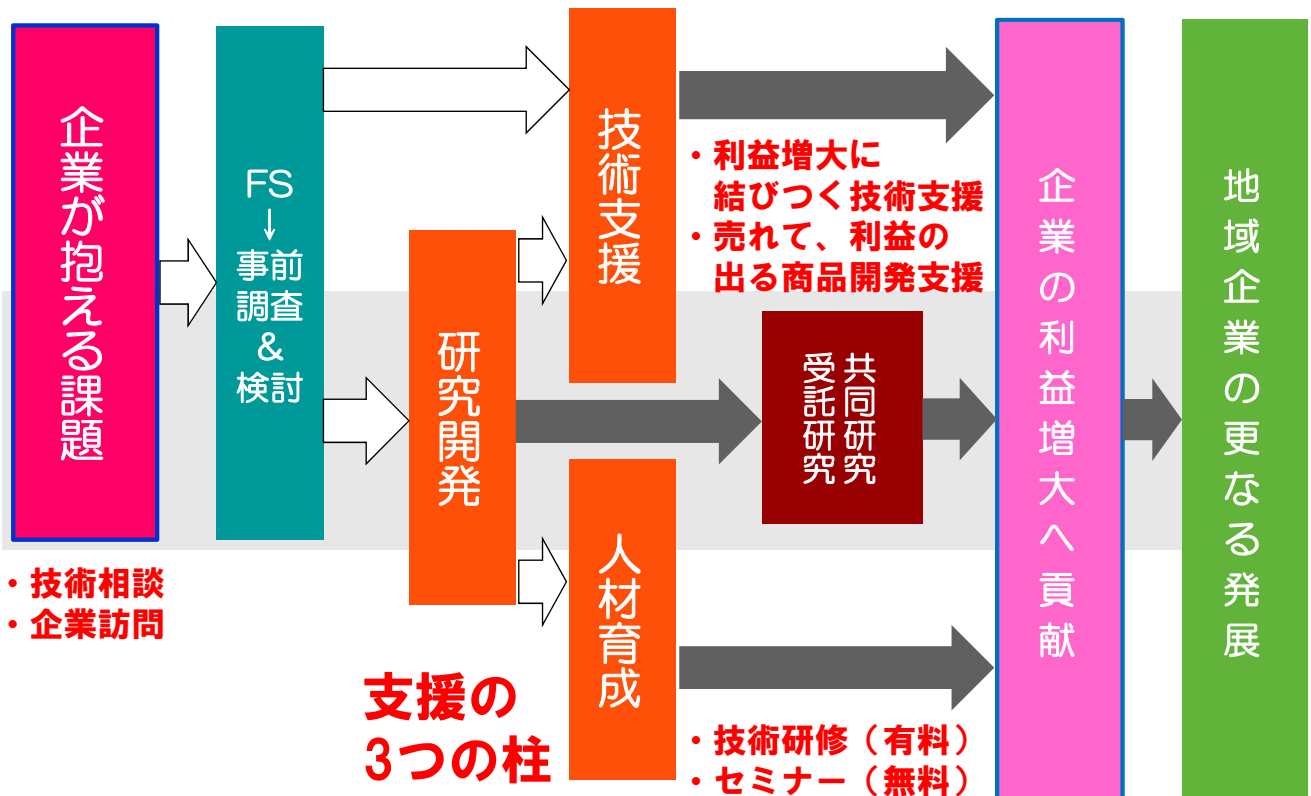
宮城県産業技術総合センター 機関評価

1. 研究機関の運営方針・重点分野
2. 研究開発・技術支援体制
3. 研究者の確保・育成
4. 研究施設・設備等, 研究環境の整備
5. 共同研究等産学連携による研究内容の充実
6. 研究成果の状況
7. 技術支援関係等業務の状況
8. 研究マネジメント



1. 研究機関の運営方針・重点分野

＜宮城県産業技術総合センターの役割＞



1. 研究機関の運営方針・重点分野 〈第4期事業推進構想 体系図(R1.4~R6.3)〉

モノづくり企業の魅力度向上



3

2020/11/6

MITI MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

+ TITLE ▶

令和2年度工業関係試験研究機関評価部会用

宮城県産業技術総合センター 機関評価

1. 研究機関の運営方針・重点分野
2. 研究開発・技術支援体制
3. 研究者の確保・育成
4. 研究施設・設備等, 研究環境の整備
5. 共同研究等産学連携による研究内容の充実
6. 研究成果の状況
7. 技術支援関係等業務の状況
8. 研究マネジメント

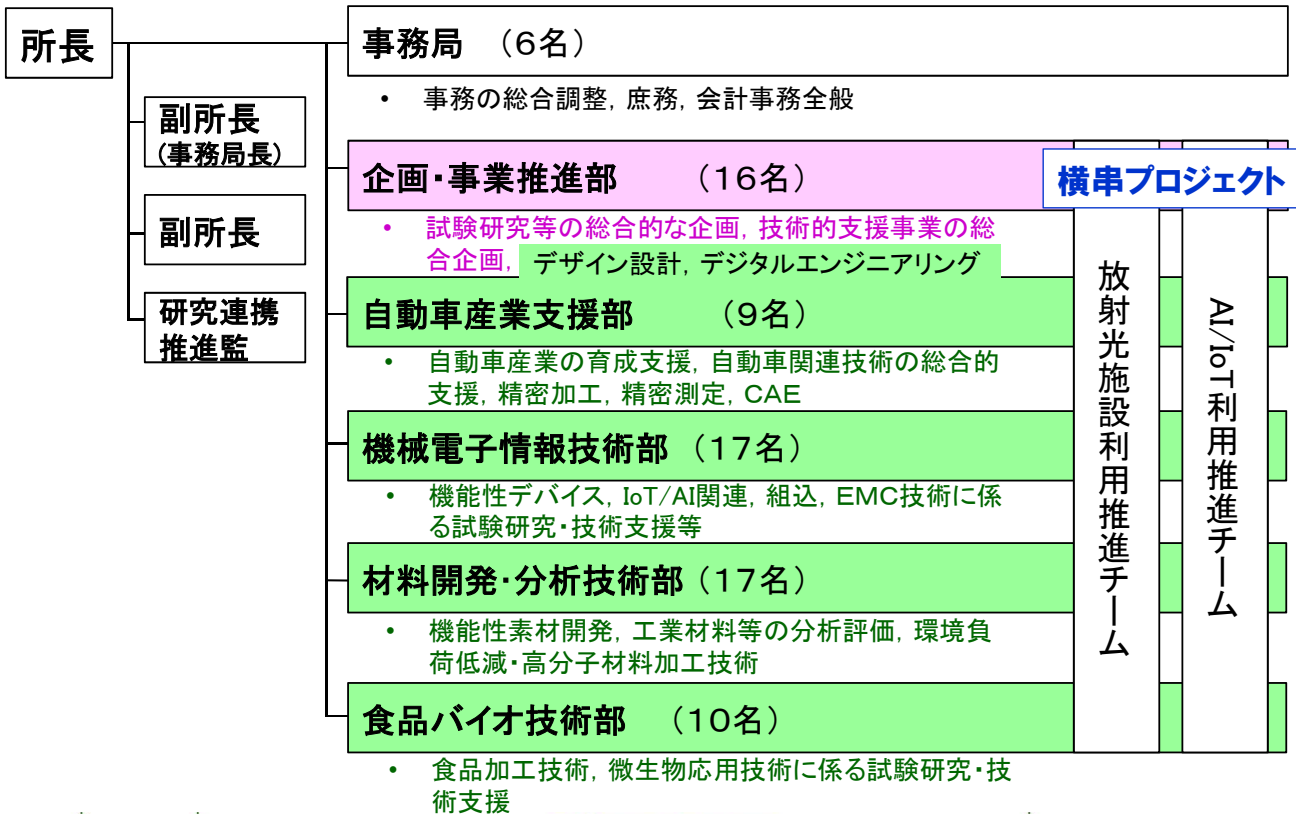


2. 研究開発・技術支援体制

＜組織体制図＞

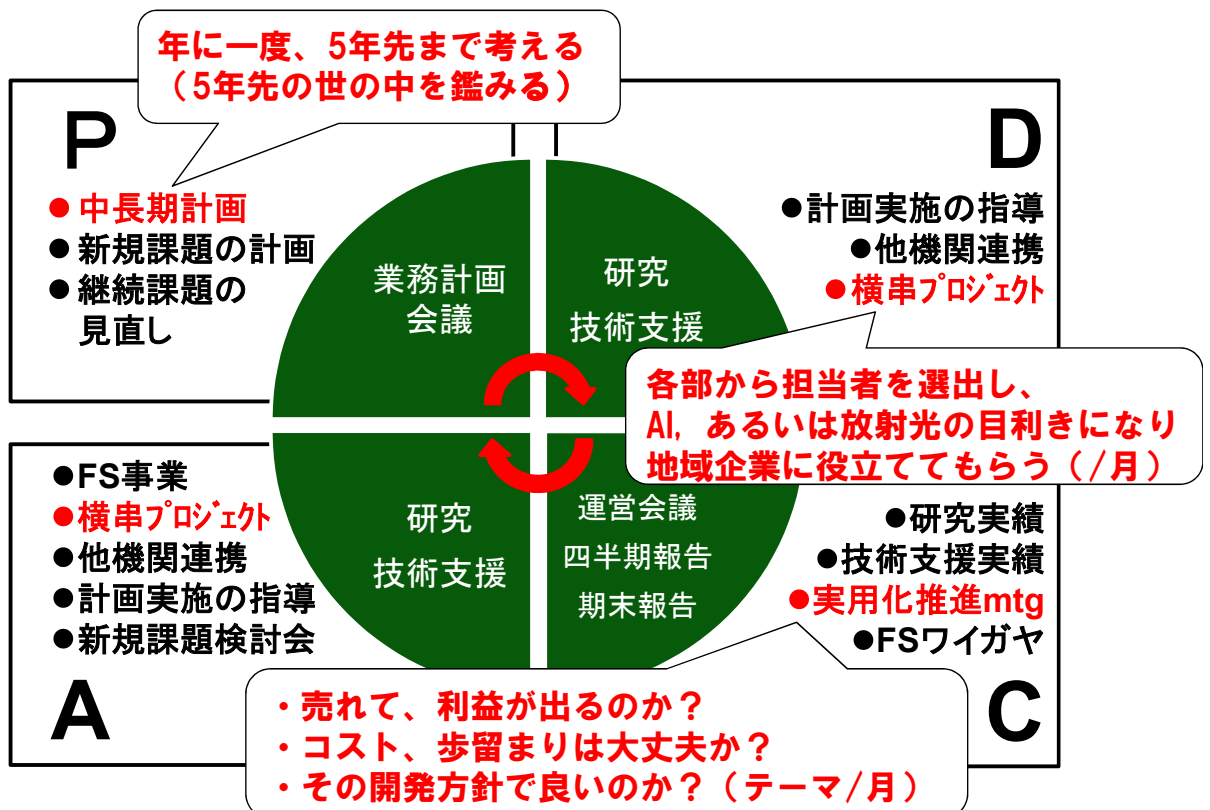
令和2年4月1日現在

79名(技術68名/事務6名/CD5名)



2. 研究開発・技術支援体制

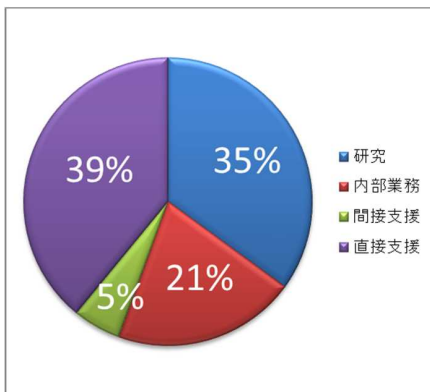
＜進捗管理：PDCA状況図＞



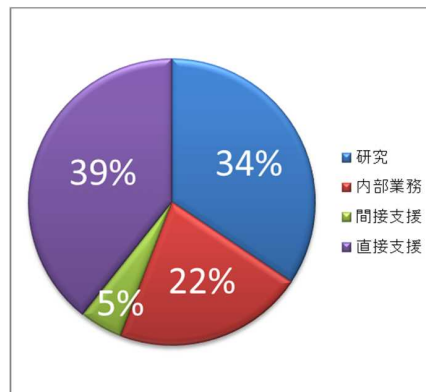
2. 研究開発・技術支援体制 ＜人工配分＞

+ TITLE ▶

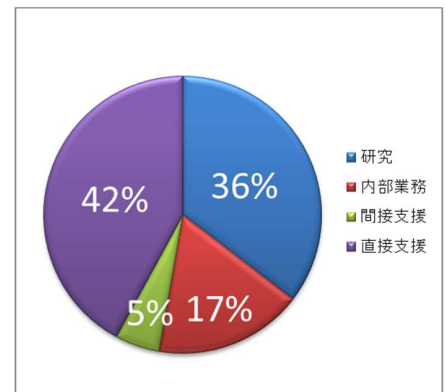
H29年度 実績



H30年度 実績



R1年度 実績



※部長，総括，事務局，企画班，基盤班除く

〔目標〕 「研究：支援：内部」 ≒ 「4：4：2」

+ TITLE ▶

令和2年度工業関係試験研究機関評価部会用

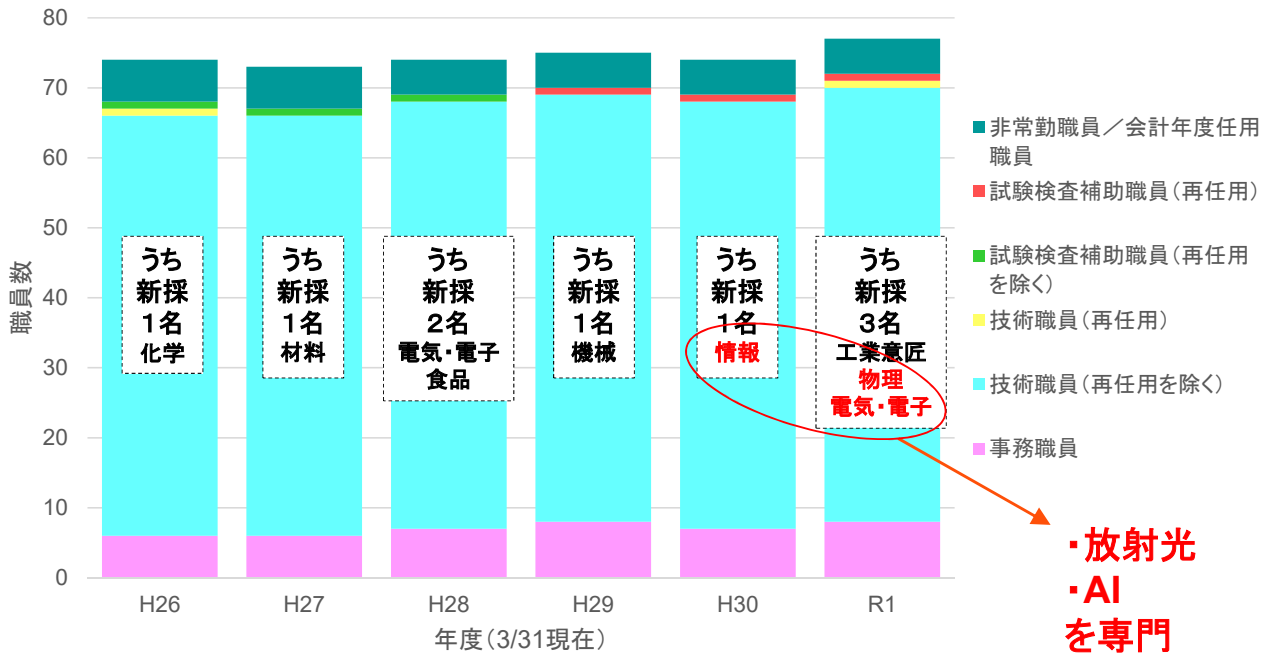
宮城県産業技術総合センター 機関評価

1. 研究機関の運営方針・重点分野
2. 研究開発・技術支援体制
3. 研究者の確保・育成
4. 研究施設・設備等，研究環境の整備
5. 共同研究等産学連携による研究内容の充実
6. 研究成果の状況
7. 技術支援関係等業務の状況
8. 研究マネジメント



3. 研究者の確保・育成 ＜職員数年次推移グラフ＞

宮城県産業技術総合センター職員として採用できる

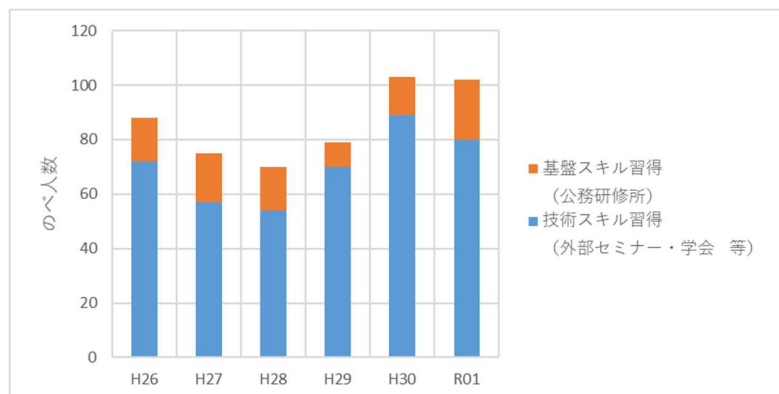


3. 研究者の確保・育成 ＜職員のスキル習得・人材育成状況＞

中小企業への技術支援・研究開発のため技術・スキル習得

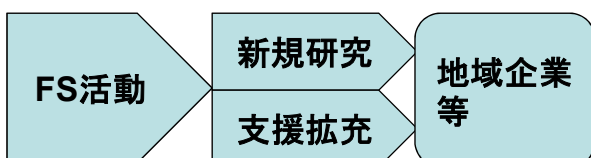
○技術スキル・基盤スキル 習得活動の推進

- 所外のノウハウ活用
- ・東北大学 受託研究員制度
 - ・産総研 技術研修制度



○先端技術等調査研究事業(通称FS事業)

(目的) 若手人材の人材育成・チャレンジ推進



	R01	R02
FSテーマ数	6	5

3. 研究者の確保・育成 <職員表彰, 外部からの表彰>

+ TITLE ▶

	H26	H27	H28	H29	H30	R01
知事表彰	1 個人1件(1名)	0	0	0	0	0
経済商工 観光部長 表彰	3 チーム2件(6名) 個人1件(1名)	1 個人1件(1名)	1 チーム1件(6名)	1 チーム1件(4名)	2 チーム2件(7名)	1 個人1件(1名)
所長表彰	8 チーム5件(22名) 個人3件(3名)	10 チーム6件(36名) 個人4件(4名)	10 チーム6件(20名) 個人4件(4名)	9 チーム8件(30名) 個人1件(1名)	7 チーム6件(33名) 個人1件(1名)	6 チーム5件(18名) 個人1件(1名)
外部表彰	2	4	3	1 「全国食品関係試 験研究機関場所 長会」より	0	1 「宮城県職業能力 開発協会」より

+ TITLE ▶

令和2年度工業関係試験研究機関評価部会用

宮城県産業技術総合センター 機関評価

1. 研究機関の運営方針・重点分野
2. 研究開発・技術支援体制
3. 研究者の確保・育成
4. 研究施設・設備等, 研究環境の整備
5. 共同研究等産学連携による研究内容の充実
6. 研究成果の状況
7. 技術支援関係等業務の状況
8. 研究マネジメント



4. 研究施設・設備等，研究環境の整備 <県有施設の老朽化対策や発展税活用の説明>

産業技術総合センター開所から20年以上が経過し、**機器更新・修繕**の財源が課題となっている一方で、**新産業の創出に向けた新規装置**の必要性も増している。今後もセンターが必要とされる施設として活動するため、**機器の整備計画(5年先まで)**を作成、**予算**を獲得する。



懸案事項協議(県有施設の老朽化対策及び適切な維持管理)

- 施設や機器の修繕計画について**財政課と協議**
- 主務課**(新産業振興課)との**連携**



- 一般財源を活用した施設・設備(機器)の**保守・修繕**
- 発展税を活用した更新・新規設備(機器)の**整備**

令和3年度以降も継続協議

4. 研究施設・設備等，研究環境の整備 <施設の修繕・新設状況と予定>

研究施設の整備等

整備が必要な施設	年度	整備の状況
電話交換機改修	H27	完了。
低温実験室改修	H27	完了。低温環境下における実験作業，清酒酵母の培養液製造等の不具合が改善。
自動火災報知設備改修	H28	完了。
自動車部品ベンチマーク室	H28	新設完了。自動車産業への「提案」活動の技術的支援が拡充。
管理棟外壁防水等改修設計	H28	完了。
管理棟外壁防水等改修工事	H29	完了。
入退室管理システム改修	H29	完了。
環境試験室空調等改修工事	H30	完了。
機器試作室動力分電盤増設工事	R1	完了。
EMC総合試験棟新築設計業務委託	R1	完了。
中央監視修繕工事装置	R2	工事中。
EMC総合試験棟新築工事	R2~	施工業者決定。 センター北側敷地にて，10m法電波暗室の建設工事進行中。R3末完成予定。

4. 研究施設・設備等，研究環境の整備 ＜設備の整備状況＞

研究設備（機器）の整備

他機関の機器も有効利用しつつ、
利用ニーズの高い機器を優先して保守・修繕・整備

財 源	H26	H27	H28	H29	H30	R1
みやぎ発展税	1	5	3	7	14	6
JKA補助	5	1	2	2	2	1
国補	0	2*1*2	2*1	1*3	0	2*4
計	6	8	7	10	16	9

- *1 地域イノベーション戦略支援プログラム
- *2 戦略分野オープンイノベーション環境整備事業
- *3 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)
- *4 地域未来オープンイノベーション・プラットフォーム構築事業

名称	担当	部	担当部署			
食品熱量測定装置(1)CA-HN			食品・バイオ技術部 技術・実証室			
メーカー	株式会社 ジョイントワールド・パシフィック					
型式	カロリーセンサー-GA-HN	設置年度	H27			
用途	食品・バイオテクノロジー関連機器 特設事項					
購入年度	H24, 2012年度					
仕様	H21, 4より名称変更。旧名称「食品熱量測定装置」, 食品熱量測定装置(1) CA-HNが製造購入されたため、H21年度決算決定よりH22年度					
取得価格(円 税別)	3,492,300 円					
使用料(円/月)	500 円/月					
用途	食品内成分分析装置にて、食品の熱量や水分、脂肪、炭水化物等の栄養成分を測定する機器・測定用センサー、ヘルシオ・パシフィック 直売、ハム腸、ソーシ、和菓子					
	過去4年間の実績					
	H27	H28	H29	H30	R1	備考
保守費実績(円)						0
使用料収入(円)	27,000	29,000	23,000	32,000	209,000	
決算額による利用(時数)	31	33	25	35	391	
決算額による利用(時間)	55	60	41	63	391	
備考による利用(時間)			4	30	30	見学等
経緯	2018.0月 別件でメーカーへ売却、動作確認サービス。 2018.1月 ランク交換					



機器カルテ

4. 研究施設・設備等，研究環境の整備 ＜H29～R1の主要設備＞

発展税

赤線枠囲い：企業等利用が100時間／年以上の機器

146h レオメーター (H29)	170h ラマン分光光度計 (H29)	スパーク放電発光分光分析装置 (H29)	ヘッドスペースガスクロマトグラフ(H29)	振動試料型磁力計 (H29)	磁場中熱処理装置 (H29)	小型射出成形機 (H29)	紫外可視近赤外分光光度計 (H30)	モバイル分光測色計 (H30)
150h 紫外可視分光光度計 (H30)	148h 食品熱量測定装置 (H30)	グラフィック処理システム (H30)	水分活性測定装置 (H30)	UVプリンター (H30)	CAD連携CAEシステム (H30)	400h 三次元CADシステム (H30)	リアルタイムスペクトラムアナライザ (H30)	電源ノイズアナライザ (H30)
マイクロスコープ (H30)	ハイスピードカメラ (H30)	超音波援用加工装置 (H30)	クリーンベンチ (R1)	酒造用タンク 360 (R1)	サーマルタンク 500 (R1)	大型オートクレーブ (R1)	超低温フリーザ (R1)	エンジニアリングプラスチック造形システム (R1)

4. 研究施設・設備等，研究環境の整備 ＜H29～R1の主要設備＞

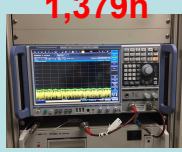
+TITLE▶

JKA

赤線枠囲い：企業等利用が100時間／年以上の機器



カー効果
顕微鏡
(H29)



1,379h

EMI
レシーバ
(H29)



波長分散型蛍光
X線分析装置
(H30)



ガラスビード
作製装置
(H30)



340h

伝導EMC試験
システム
(R1)

国補

- *1 平成29年度戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)
- *2 平成30年度補正予算「地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域未来オープンイノベーション・プラットフォーム構築事業)」(補助率100%)



ポータブル型残留
応力測定装置
(H29) *1



ハイパースペクトル
カメラ
(R1) *2



外観検査用
AIシステム
(R1) *2

+PAGE▶ 17

+DATE▶ 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE,
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

+SECURITY CLASSIFICATION▶ ■公開

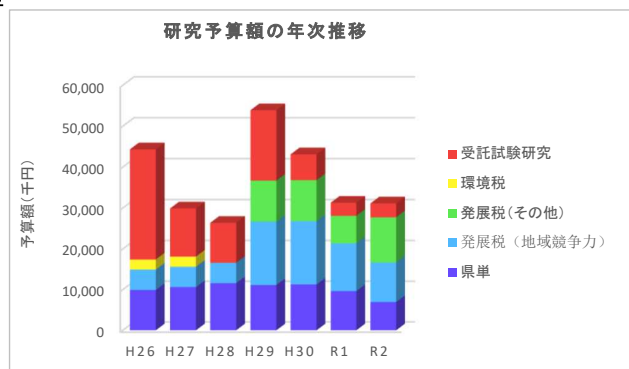
4. 研究施設・設備等，研究環境の整備 ＜組織の研究環境＞

+TITLE▶

○センター事業による政策・重点・経常研究

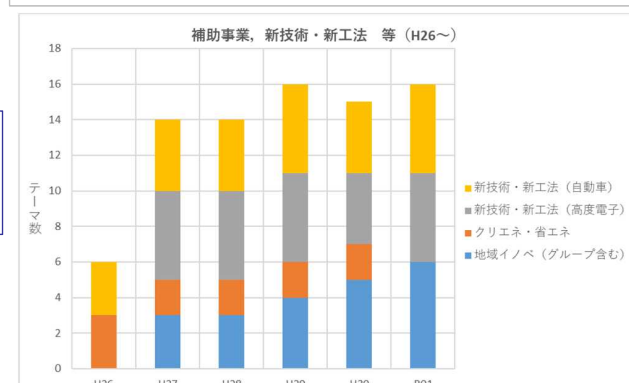
- ・県予算：県単，発展税，環境税等
- ・受託試験研究費：競争的資金，企業等

競争的資金獲得のための環境づくり推進



○企業支援の共同研究

- (新産業振興課・自動車産業振興室事業)
- ・競争的資金獲得等を目指したプレ共同研究
 - ・企業等への補助事業実施のための共同研究



+PAGE▶ 18

+DATE▶ 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE,
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

+SECURITY CLASSIFICATION▶ ■公開

宮城県産業技術総合センター 機関評価

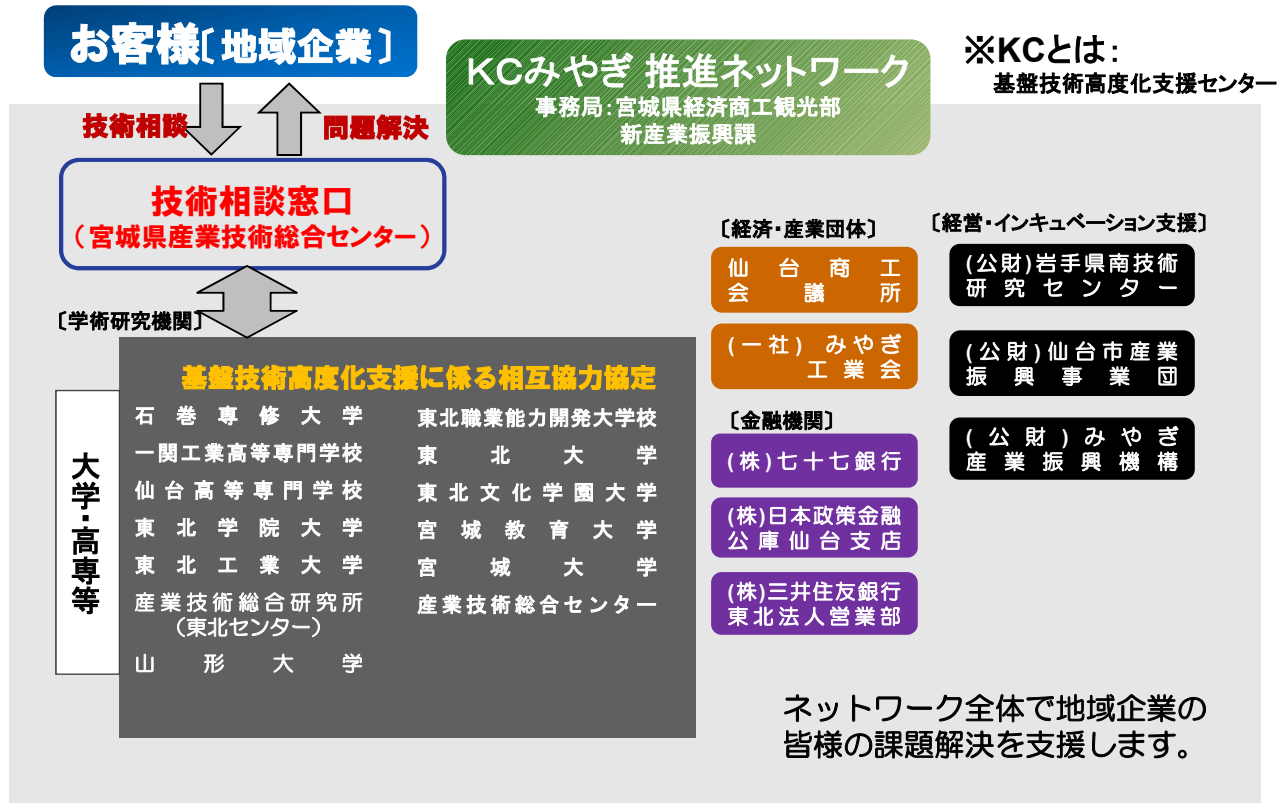
1. 研究機関の運営方針・重点分野
2. 研究開発・技術支援体制
3. 研究者の確保・育成
4. 研究施設・設備等, 研究環境の整備
5. 共同研究等産学連携による研究内容の充実
6. 研究成果の状況
7. 技術支援関係等業務の状況
8. 研究マネジメント

5. 共同研究等産学官連携による研究内容の充実
＜取組状況＞

	~H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2~
大学・高専等との連携	KCみやぎ推進ネットワーク							
	東北工業大学との連携協定							
	東北大学金属材料研究所との連携協定							
研究会活動	CFRP研究会							
	デジタルエンジニアリング研究会							
機関との連携	3D3プロジェクト							
	みやぎCNFプロジェクト							
	産業技術連携推進会議, 公立鉾工業試験研究機関長協議会, 中東北3県(岩手・宮城・山形)公設試技術連携推進会議, 県内公設試験場との連携(場所長会, 連携企画委員会, 業際研究会)							
分担研究での連携	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)							

5. 共同研究等産学官連携による研究内容の充実 ＜KCみやぎ推進ネットワーク＞

+TITLE▶



+PAGE▶ 21

+DATE▶ 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

+SECURITY CLASSIFICATION▶ ■公開

5. 共同研究等産学官連携による研究内容の充実 ＜研究会（3Dプリンター分野）＞

+TITLE▶

◆デジタルエンジニアリング研究会（H28～）

2研究会を実施。国内外で活躍中の方々を座長に迎え、参加者間の熱心な議論・情報交換を実施。

①金属粉末3Dプリンター研究会

電子ビーム式3Dプリンターの先端研究の進捗状況、製品化応用事例を通して、自社技術への適用可能性を探る。
座長：東北大学 金属材料研究所 千葉晶彦教授

②DDM研究会

DDM（ダイレクトデジタルマニファクチャリング）の可能性を探る。



R1
参加者

第1回

37名

第2回

39名

第3回

中止

R1
参加者

第1回

15名

第2回

中止



イベント・セミナー



金属3Dプリンター世界最前線
世界で戦うトップランナー達の革新的ものづくり戦略について講演



3D Printing World in Akegori
世界各国での3DプリンターやAMの最先端事情を紹介

+PAGE▶ 22

+DATE▶ 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

+SECURITY CLASSIFICATION▶ ■公開

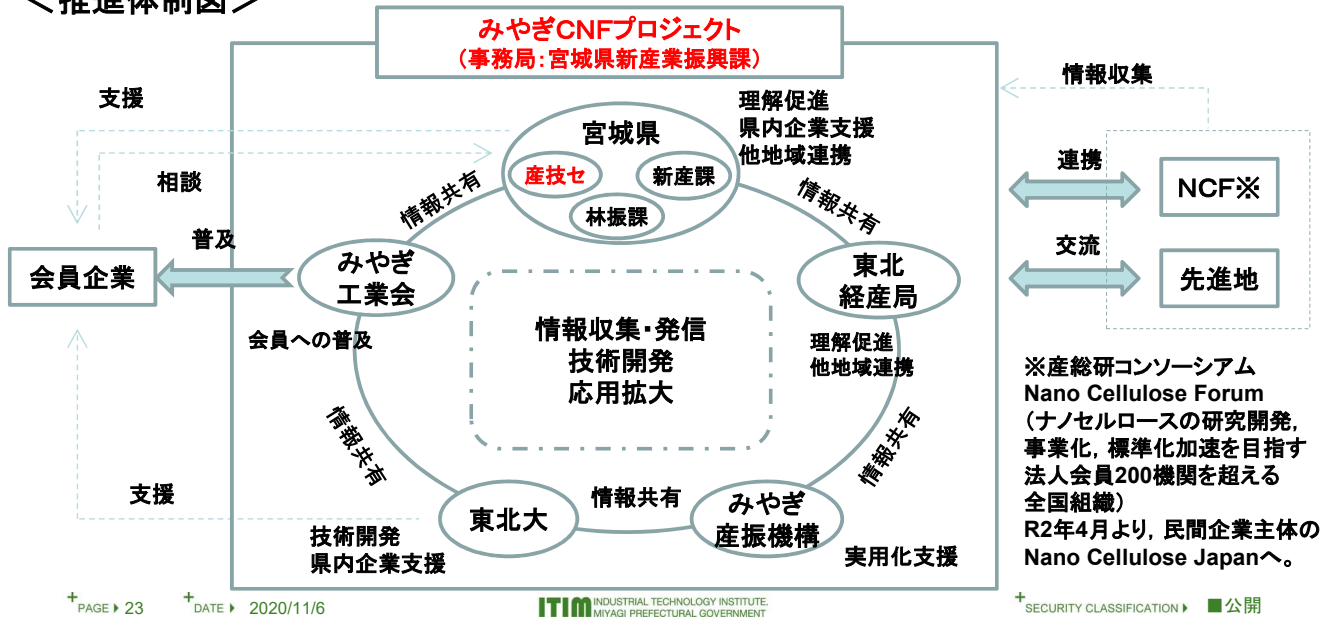
5. 共同研究等産学官連携による研究内容の充実 〈みやぎCNFプロジェクトチーム〉

+ TITLE ▶

1. 推進体制

宮城県(新産課, 林振課, 産技セ), 東北経済産業局, 東北大学, みやぎ工業会, みやぎ産業振興機構を構成機関とする「プロジェクトチーム連絡会議」を設置し, 各機関が取り組む, 情報収集・発信, 技術開発, 応用拡大にかかる, 情報の共有を図り, 取組を加速させる。

〈推進体制図〉



5. 共同研究等産学官連携による研究内容の充実 〈分担研究での連携 (サポイン) 〉

+ TITLE ▶

テーマ名	期間	参画機関
CFRPと金属材料の直接接合技術の開発	H27~H29	ヤマセ電気(株) 仙台高等専門学校
純銅を凌ぐ画期的りん青銅合金の最高抗菌性発現及びその高抗菌性を効果的に発揮させるための薄膜化・表面加工法技術の確立	H27~H29	(株)原田伸銅所 (株)エヌケー製作所 東北大学 産業技術総合研究所
大流量吐出高圧炭酸塗装機の開発	H28~H30	加美電子工業(株) 群馬大学
大容量非接触式マグネットクラッチを搭載した, ECOセーフティハイブリッド鉄道車両の開発	H28~H30	東洋機械(株) (株)成田鋼業 仙台高等専門学校
鉄道レールの溶接余盛除去装置の開発	H29~H31	大研工業(株)
フィギュア市場向け成形型の企画から完成までの製作期間を大幅に短縮させるプロセスの開発	R01~R03	(株)デザインココ 山形大学
透明基材を用いた高周波デバイス対応両面配線プロセス形成技術の開発	R01~R03	(株)寺田 (株)丸和製作所

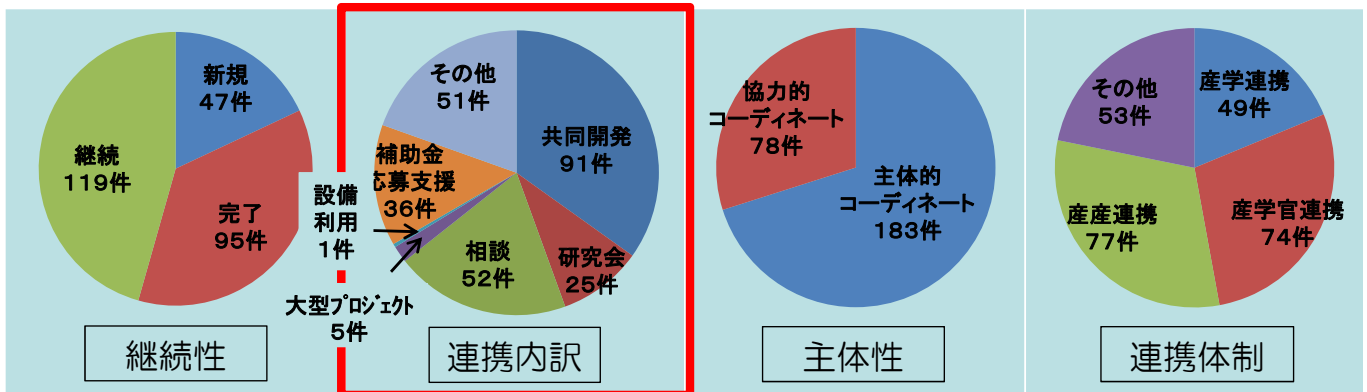
5. 共同研究等産学官連携による研究内容の充実 〈コーディネートの重要性・実績〉

◆ 産技センター職員の連携コーディネート活動

目的

産技センターの重要な機能であるにも関わらず、支援実績に表れないコーディネート活動事例（産学官連携，産学連携，産産連携等）を調査。

各年度実績 174件(H29) → 197件(H30) → **261件 (R1)**



R1年度 連携コーディネート事例調査結果

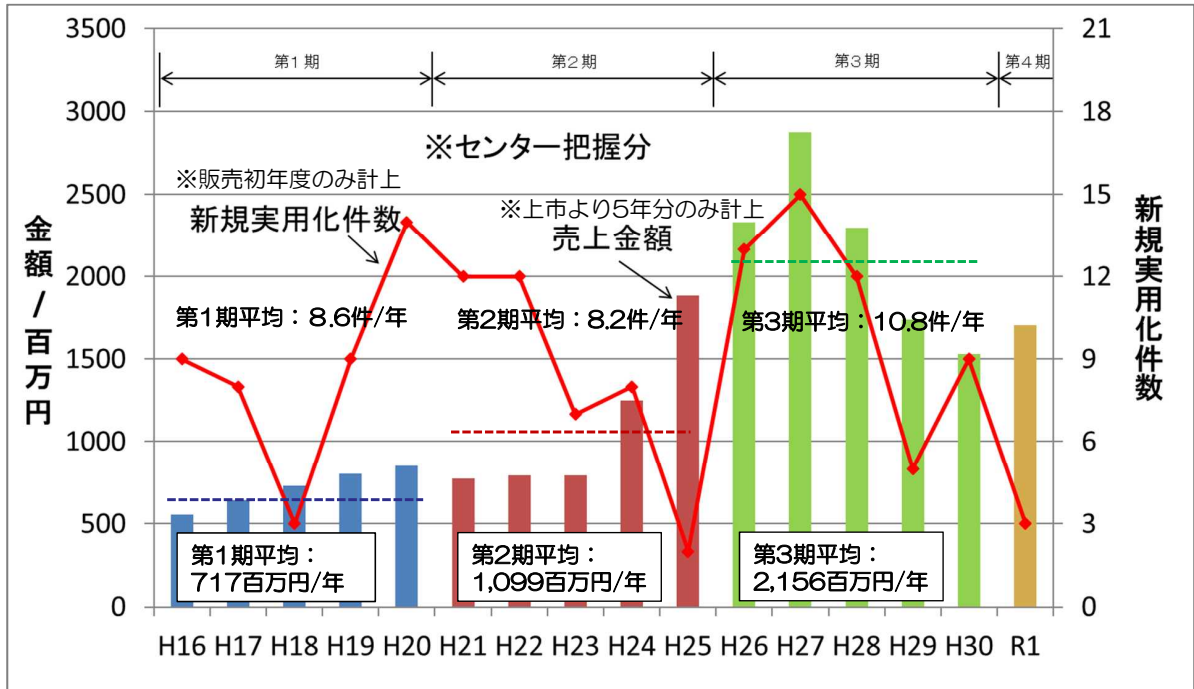
令和2年度工業関係試験研究機関評価部会用

宮城県産業技術総合センター 機関評価

1. 研究機関の運営方針・重点分野
2. 研究開発・技術支援体制
3. 研究者の確保・育成
4. 研究施設・設備等，研究環境の整備
5. 共同研究等産学連携による研究内容の充実
6. 研究成果の状況
7. 技術支援関係等業務の状況
8. 研究マネジメント



6. 研究成果の状況／7. 技術支援関係等業務の状況 <成果指標（1）研究・支援製品売上げ実績推移>



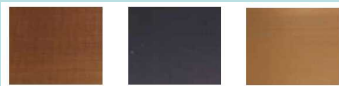
過去3年で、5.7件/年、16億6,000万円/年の売上げに貢献

6. 研究成果の状況／7. 技術支援関係等業務の状況 <実用化事例1 製品設計・デザイン分野>

産技センターの技術協力により商品化

硫化加工による新たな色展開
を可能とした屋根材

センターの役割：
色彩に関する初期検討・提案



硫化銅板葺き屋根材
(株)原田伸銅所
(R1~)

東北大等
との連携

贈答用笹かまぼこセット

センターの役割：
感性分析手法を活用した商品
ブランド強化及びコンセプト立案



贈答用笹かまぼこ
(株)佐々直
(H30~)

長さ違いの内視鏡処置用具用
ホルダー

センターの役割：
コ・メディカルニーズに基づく製品
設計・デザイン支援



内視鏡ホルダー
(有)加藤ステンレス
(H28~)

県立がんセン
ターとの連携

6. 研究成果の状況／7. 技術支援関係等業務の状況 ＜実用化事例2（電子・情報分野）＞

+TITLE▶

産技センターの技術協力により商品化

魚のはらこ判別装置

センターの役割：
電波暗室での放射ノイズ測定と対策支援
3次元画像計測による形状設計支援
環境試験



Smart Echo
東杜シーテック（株）
（H30～）

東北大等
との連携

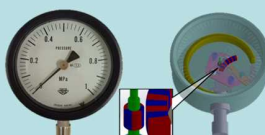
+PAGE▶ 29 +DATE▶ 2020/11/6

マグネット式ギアレス圧力計用内機

センターの役割：
振動試験による製品評価支援



マグネット式内機



マグネット式内機を使用した圧力計

（株）プロスパイン
（H28～）

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

艶のある塗装品・メッキ品用の外観検査装置

センターの役割：
3次元画像計測・解析，性能評価



表面欠陥画像検査ユニット
バイスリープロジェクト（株）
（H27～）

東北大との
連携

+SECURITY CLASSIFICATION▶

6. 研究成果の状況／7. 技術支援関係等業務の状況 ＜実用化事例3 機械・加工分野＞

+TITLE▶

産技センターの技術協力により商品化

産業用刃物に利用される 超薄板（1mm以下） 加工製品

センターの役割：
研削熱や加工ひずみによる反りが発生しない研削加工技術



スーパーディスクフラッター
大研工業（株）
（H27～）

+PAGE▶ 30 +DATE▶ 2020/11/6

熱硬化性CFRP用 ドリル

センターの役割：
刃形状の測定と摩耗量評価



スカットドリル
（株）ミヤギタノイ
（H27～）

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

秋田県との
連携

高精度樹脂成形用金型

センターの役割：
機器開放による寸法評価



樹脂成形用金型
プラスエンジニアリング（株）
（H27～）

+SECURITY CLASSIFICATION▶ ■公開

6. 研究成果の状況／7. 技術支援関係等業務の状況 ＜実用化事例4 材料・分析分野＞

+TITLE▶

産技センターの技術協力により商品化

雪滑り性を実現した屋根用塗料

センターの役割：
塗料配合設計
塗膜評価



東北大等
との連携

陸王
KFアテイン(株)
(H30～)

洗浄・防錆処理製品

センターの役割：
洗浄液、処理液の分析
パシバート処理製品の表面分析等



パシバート処理ライン

湯洗(ボンデ皮膜除去)処理製品
東邦メッキ(株)
(H30～)

冷間鍛造に対応した表面処理(潤滑処理)製品

センターの役割：
洗浄液、処理液の分析
ボンデ処理製品の表面分析
膜厚測定、潤滑性能評価等



潤滑処理ライン

潤滑処理製品
東邦メッキ(株)
(H30～)

PAGE▶ 31 DATE▶ 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

SECURITY CLASSIFICATION▶ ■公開

6. 研究成果の状況／7. 技術支援関係等業務の状況 ＜実用化事例5 食品・バイオ分野＞

+TITLE▶

産技センターの技術協力により商品化

共同開発された酒造好適米の特徴が活かされた純米吟醸酒

センターの役割：
酒米開発
酒米品質情報提供
酒質設計支援、製造技術支援



県酒造組合
等との連携

「吟のいろは」を用いた純米吟醸酒
宮城県酒造組合加盟メーカー
(R1～)

丸森産コシヒカリを原料としたライスワイン

センターの役割：
酒質設計支援、製造技術支援



ライスワイン「LUCE」
(有)佐々木酒造店
(R1～)

「つるっと美味しい」無塩乾麺

センターの役割：
物性評価・栄養成分測定への支援



無塩熟成そうめん・無塩熟成うどん
はたけなか製麺(株)
(H29～)

PAGE▶ 32 DATE▶ 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

SECURITY CLASSIFICATION▶ ■公開

6. 研究成果の状況 / 7. 技術支援関係等業務の状況 <技術支援業務の紹介>

+ TITLE ▶

1. 技術相談

工業技術全般にわたる相談

無料

3,744件(R1) ; 民間企業929事業所 ; 計測技術, 分析技術等

2. 試験分析

工業用材料・部品などの各種試験・分析・測定

有料

18,378件(R1) ; コンクリート強度試験, 鉄筋引っ張り試験等

3. 施設・機器開放

センター施設・機器を利用し, 分析・測定

有料

4,398件(R1) ; EMC測定システム, 振動試験装置, X線CT装置等

4. 技術改善支援

技術課題解決(企業とセンターが共同実施)

有料

616件(R1) ; 異物分析, 破損原因解析, 光造形試作, 各種シミュレーション等

5. 実用化研究室

研究室に常駐。技術支援を受け実用化研究

有料

4社(R1) ; H26~H28平均6.3社/年, H29~R1平均6.0社/年

6. 技術研修/セミナー

企業で中核となる技術者を養成

有料/無料

36タイトル(R1) ; 組込みシステム開発研修, 自動車関連産業向け研修, デザイン系研修等

7. 培養微生物配布

清酒酵母を酒造事業者に培養配布

有料

+ 2,946本(R1) ; 低アルコール酒用, 純米酒用, 吟醸酒用

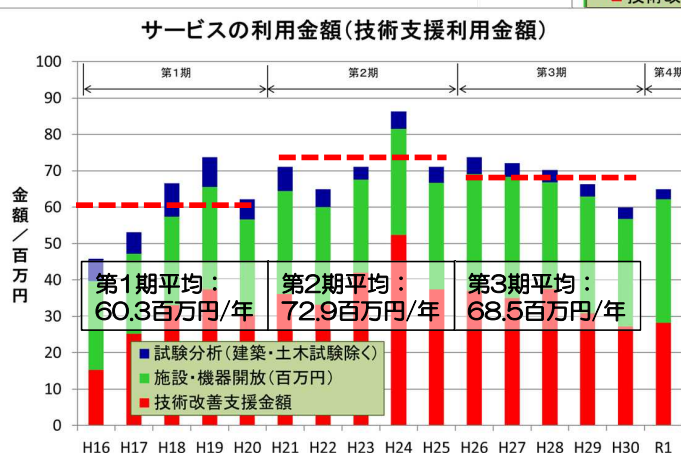
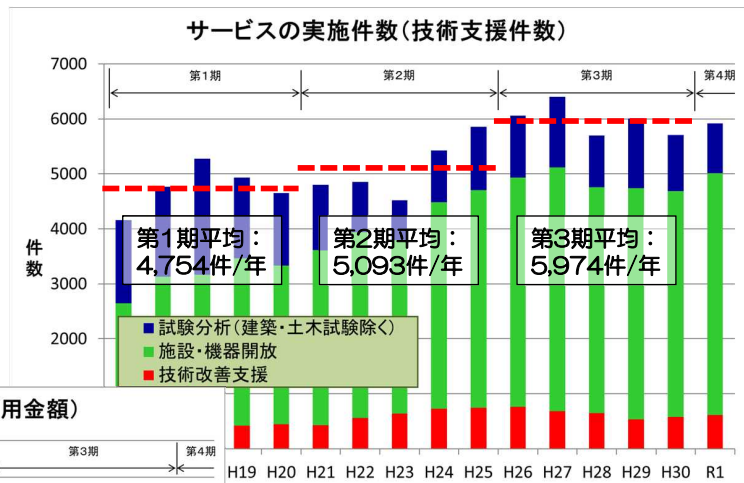
+ SECURITY CLASSIFICATION ▶ ■ 公開

6. 研究成果の状況 / 7. 技術支援関係等業務の状況

+ TITLE ▶

<成果指標(2) 支援事業実施件数推移, 金額推移>

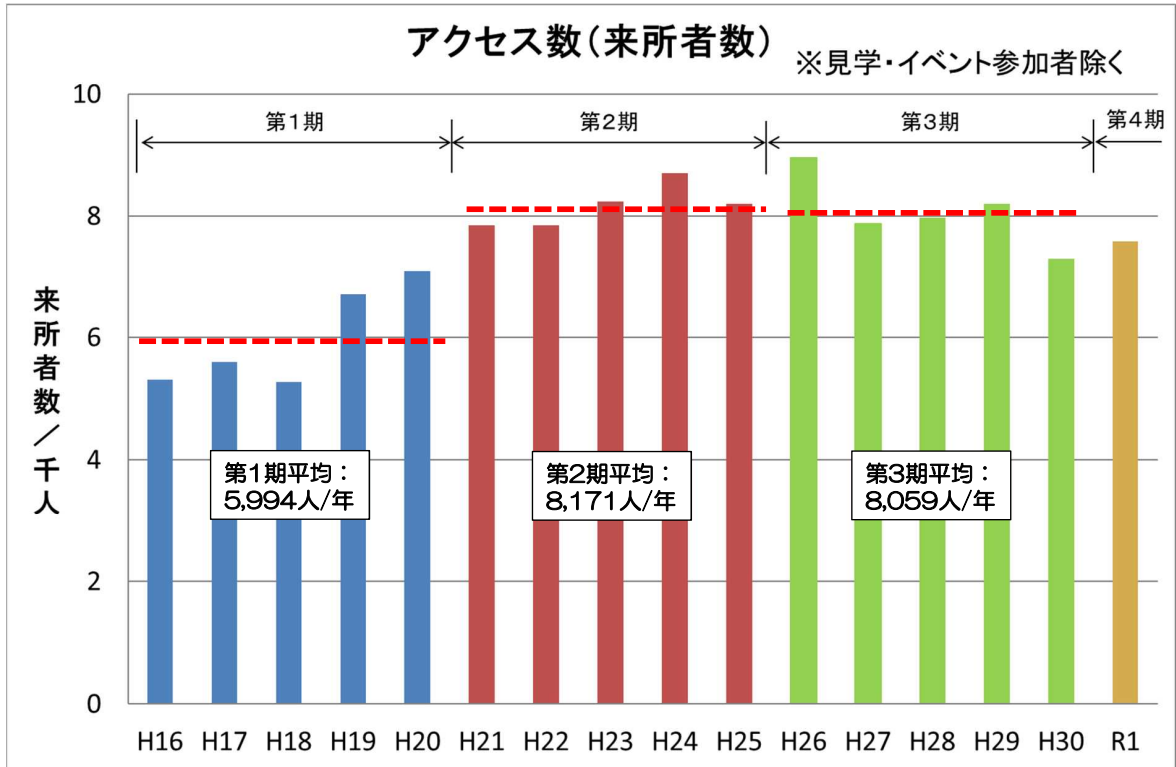
過去3年で5,700件以上
 (日当たり20件以上)
 の件数を維持



過去3年で5,900万円
 以上の利用金額を維持

R1は前年度を上回る
 実績

6. 研究成果の状況 / 7. 技術支援関係等業務の状況 < 成果指標 (3) アクセス数推移 >



過去3年で日当たり30人以上の来所者数を維持

6. 研究成果の状況 / 7. 技術支援関係等業務の状況 < 広報の取組み・実績 >

ほかに・・・
ホームページやメルマガによる情報提供

刊行物

業務年報・研究報告・事業推進構想(資料編)

ホームページ

技術シーズ **共同研究等・競争的資金応募**

企業インタビュー

センター主催イベント

新規開放機器説明会

県民向け一般公開

出展イベント

登米市産業フェスティバル

ナノ・マイクロビジネス展
 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ
 ビジネスマッチ東北 ほか

おおさき産業フェア

宮城県産業技術総合センター 機関評価

1. 研究機関の運営方針・重点分野
2. 研究開発・技術支援体制
3. 研究者の確保・育成
4. 研究施設・設備等, 研究環境の整備
5. 共同研究等産学連携による研究内容の充実
6. 研究成果の状況
7. 技術支援関係等業務の状況
8. 研究マネジメント

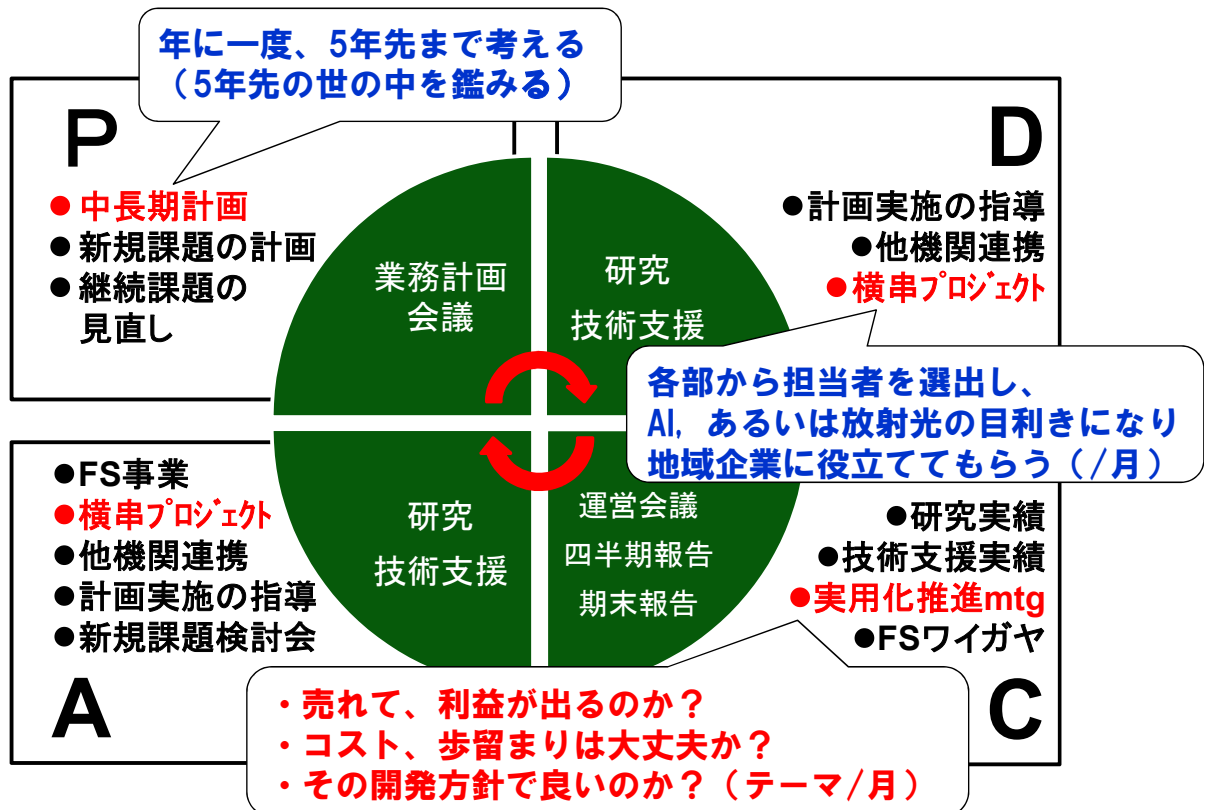


8. 研究マネジメント ＜業務マネジメント＞

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>期首会同（全所員向け方針発表）</p> <p>業務期末報告会議・中長期計画（各業務, 研究チーム総括）</p>	<p>四半期報告会議（各部・各班進捗報告）</p> <p>新規課題検討会議（次年度新規課題検討）</p> <p>業務計画会議・中長期計画（各業務, 研究チームの次年度計画）</p> <p>R1~</p>	<p>四半期報告会議</p> <p>工業関係試験研究機関評価部会</p>	<p>四半期報告会議</p> <p>宮城県試験研究機関評価委員会</p>
<p>実用化推進ミーティング（各テーマ、1回/月 程度, 各部長以上+担当）</p>			
<p>運営会議（毎週月曜9時~, 各部次長以上+企画班担当）</p>			

2.研究開発・技術支援体制 ＜進捗管理：PDCA状況図＞

+ TITLE ▶



+ PAGE ▶ 39 + DATE ▶ 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

+ SECURITY CLASSIFICATION ▶ ■ 公開

8. 研究マネジメント ＜研究不正等対策・情報管理＞

+ TITLE ▶

研究不正等防止

「研究活動の不正行為等防止に関する

基本方針・要綱・要領」H28.4策定（H30.2改正）

「研究データの保存に関する要領」H28.4策定

- WEBサイト掲載
- 全技術職員「研究倫理 e-ラーニング（日本学術振興会）」受講
- 技術職員向け研究倫理教育セミナー開催
- 全職員向けコンプライアンス教育セミナー開催
- 不正防止計画に従って実施

情報管理委員会

○ 所内情報ネットワーク管理

○ 情報セキュリティ管理

最近の実施事項

- ・ 情報システムに係る業務継続計画（i-BCP）に基づき継続的な見直しを実施中

+ PAGE ▶ 40 + DATE ▶ 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE
MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

+ SECURITY CLASSIFICATION ▶ ■ 公開

8. 研究マネジメント

<FS・実用化推進ミーティング・知財支援検討>

②研究成果の実用化を応援

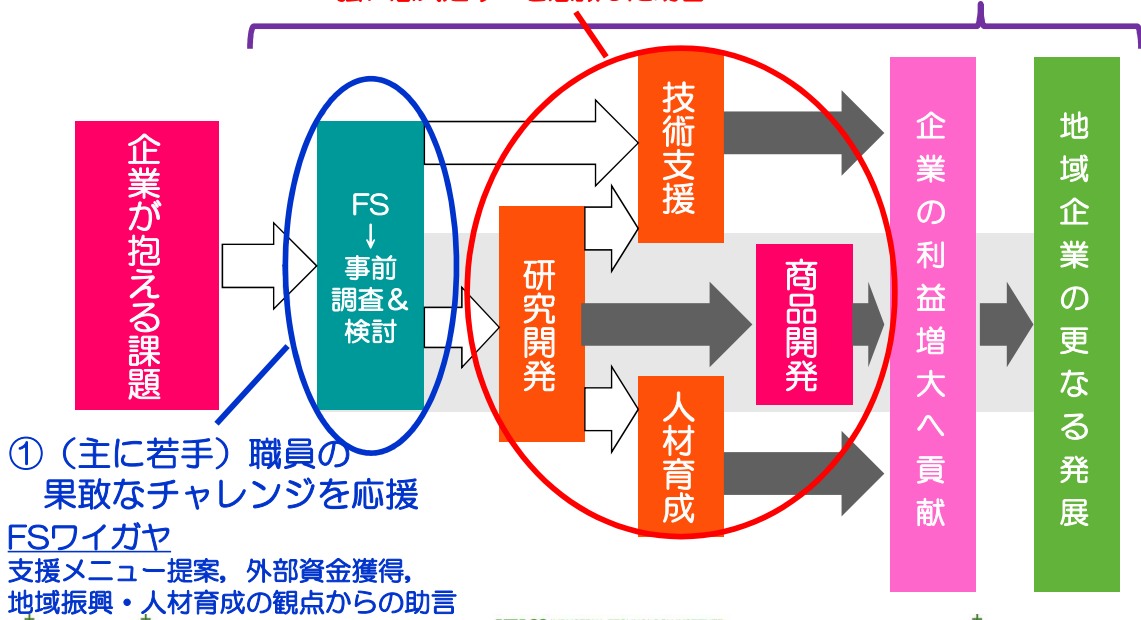
実用化推進mtg

- ・潜在的な課題の把握と対策の明確化
- ・“必ず実用化（しかも黒字）するという強い意気込み”を意識した助言

③研究成果の知財化を応援

知財支援検討会

- 知財CD等による知財戦略（特許マップ作成等）の助言



① (主に若手) 職員の果敢なチャレンジを応援

FSワイガヤ

支援メニュー提案, 外部資金獲得, 地域振興・人材育成の観点からの助言

PAGE 41 DATE 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE, MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

SECURITY CLASSIFICATION 公開

ITIM

宮城県産業技術総合センター

INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE, MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT



〒981-3206

宮城県仙台市泉区明通2丁目2番地

TEL 022-377-8700 FAX 022-377-8712

Web www.mit.pref.miyagi.jp



・仙台駅より車で40分 / 東北自動車道 泉I.C.より15分

・地下鉄泉中央駅より路線バスで約25分

3番乗り場 ▶ 「宮城大学前経由 泉パークタウン車庫」行き

「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車徒歩3分

・仙台駅より路線バスで約40分

バスプール ▶ 「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」行き

2番乗り場 ▶ 「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車徒歩3分

PAGE 42 DATE 2020/11/6

ITIM INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE, MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

SECURITY CLASSIFICATION 公開